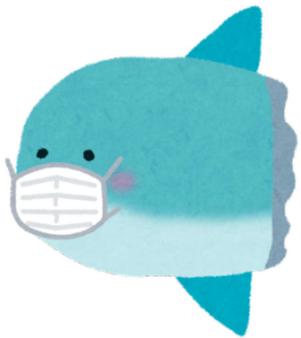


## マンボウの九月

ほんの一年ぐらい前までは、「マンボウ」



といえは、イラストのようなお魚を思い浮かべるだけでしたのに、いまや、こんなのにきな雰囲気です。「マンボウ」と発することはなくなりましたね。イラストのマンボウにも、マスクをしてもらう配慮が必要なくらいです。ちなみに、ここで話題の「マンボウ」の正式名称は「福島県まん延防止等重点措置及び感染拡大防止対策」と言います。ご存じでしたか？



本紙第五号の記事にて、ラッシュを避けるために「電車の棲み分けを周辺高校と調整し、時差登校（九時半始業）を九月十日まで実施しています」とお伝えしましたが、結局のところ「マンボウ」の期限が延長になりまして、今月末まで時差登校が続くこととなりそうです。「今月末まで」と言うのも、二十四日には福島・郡山が解除されていることから、今

月の末を超えて延長と言うことはないだろう

## 修学旅行延期

マンボウの影響は、時差登校以外にも出てきています。



2年生は、本来なら本号発行日スタートで三泊四日、一月一日まで広島（宮島）と大阪と京都の修学旅行に出かけるはずでした。



しかしながら、全国的な感染拡大とともに、本市がマンボウ指定となり、また、旅行先の一部が緊急事態宣言下等になり、本日からの実施を断念し、十二月中旬に延期せざるを得ませんでした。



昨年であれば中止としていたところですが、今は、宿泊施設や見学施設等の感染対策が経験値も加味されてしっかりしており、また、私達自身の意識変化から、感染予防に十分に対応できることから、延期の判断となりました。

## 就職試験結果ぞくぞく

ある日の校長室。

トントントン（ドアのノック音）

生徒A「（ここは大きな声でハキハキと読んでください）失礼します。三年〇組の〇〇〇です。校長先生に用があって参りました。」

私「はい、どうぞ中に入って。ソファアにおかけください。」

A「お仕事中止礼します（ソファアに座る）。」

私「今日は、何の用事ですか」

A「はい、私は〇〇日に株式会社〇〇〇を受験しましたが、その結果報告に参りました」

※ここまで誰も共通に話します。

私「そうですか、わざわざ報告ありがとうございます。それで結果はいかが」

A「はい、無事内定をいただきました（満



面満面満面笑み）「

私「そうですか、それは大変良かった（握手ができないので、拳をつきあわせる）」

A「ありがとうございます

います。校長先生をはじめ多くの先生方に面接などのご指導をいただいた結果だと思います。本当にご指導ありがとうございました。本番の面接は、学校での模擬よりずっと簡単に感じました。厳しく指導していただいたおかげで緊張せずにできました。」

私「これからの半年はあなたにとって最後の学生生活ですね。充実するよう心がけてくださいね。」

また、別のある日

※共通部分は略。

私「そうですか、わざわざ報告ありがとうございます。それで結果はいかが」

B「残念ながら、内定はいただけませんでした。（少しうつむき加減）」

私「そうですか。厳しい指導を受けながら、成果として現れず残念でしたね。ところで、次はどうするつもりですか。」

B「次の企業を考えているところです。親と先生方と相談をして決めたいと思います。」

私「切替が早くていいですね。就職試験は



『努力報われ型』試験ではなくて、単に企業ニーズにマッチしているかの試験です。内定がもらえなかったことイコール努力不足・無駄な努力ということではないので、早めに次を決めて、また一から対策・練習していきましよう。」

B「あらためて受験願に印をいただきに参ります。またよろしくお願いします」

試験ですから、合格・不合格はつきものです。時間の流れはさかのぼれませんから、決定した過去は変えようがありません。

次をどうするか、常に今がスタートです。

## 校長のつぶやき

進路活動の初期に志望動機を言わせると「間に合うかなあ」って不安に思った生徒も、仕上げの校長面接練習の時には、別人のように志望動機等をスラスラと語るの、その視点で、努力は報われるんだなあって、人間の存在が好きになります。